

|      |         |    |    |     |     |
|------|---------|----|----|-----|-----|
| 科目名  | 作曲法 I C | 形態 | 演習 | 開講期 | 春学期 |
| 担当教員 | 小林 聡    | 単位 | 1  | 年次  | 1   |

### ＝授業科目の目標＝

和声法 I C では、3 和音の第 2 転回位置までとりあげます。

また、バスとソプラノの定型を理解することにより、ソプラノ課題にも対応できるようにしたいと思います。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

家庭での自主的勉強が必要となるのでその為の課題を与えます。

2/3 以上の出席がない場合、理由に関わらず、失格になります。遅刻、早退、中途退席 3 回で欠席 1 回と見なします。また、授業時間の半分の時間（45 分）を超過しての遅刻、早退、途中退席は欠席扱いとします。

### ＝授業内容＝

- 1 回 導入
- 2 回 基本位置 3 和音の配置 - 1 -
- 3 回 基本位置 3 和音の連結 - 2 -
- 4 回 和音設定の原理 - 1 -
- 5 回 和音設定の原理 - 2 -
- 6 回 和音設定の原理 - 3 -
- 7 回 各種の調 - 1 -
- 8 回 各種の調 - 2 -
- 9 回 3 和音の第 1 転回位置 - 1 -
- 10 回 3 和音の第 1 転回位置 - 2 -
- 11 回 3 和音の第 1 転回位置 - 3 -
- 12 回 3 和音の第 2 転回位置 - 1 -
- 13 回 3 和音の第 2 転回位置 - 2 -
- 14 回 3 和音の第 2 転回位置 - 3 -
- 15 回 和声法 I C のまとめ

### ＝成績評価の方法と評価の基準＝

定期試験を主に、日頃の添削、出席状況を加味し評価します。

(85 点以上 A、70～84 点 B、60～69 点 C、59 点以下 D)

### ＝テキスト（必携）＝

書籍名：和声 理論と実習 I

著者名：島岡譲 他

出版社：音楽之友社